

令和 6 年 度 事 業 の 概 況
(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日)

令和 6 年度は、多くの国が、インフレ減速に伴い政策金利の引下げに転換した 1 年となりました。一方、日本では物価と賃金の上昇率が 30 数年振りの高水準で推移し、日本銀行は 17 年振りに政策金利を引き上げました。物価高と人手不足による人件費高騰は、医療機関をはじめ様々な業種の経営を圧迫しています。

令和 7 年度は、米国関税政策の発動で始まりましたが、発動直後に米国株や米ドルに加え、米国債を含めたトリプル安となり、急遽一部凍結されました。中国不動産不況の深刻化、中東・ウクライナ情勢の緊迫化など、様々なリスクが高まっている中で、米国政策の不透明感が加わり、世界的に景気減速懸念と先行きの不確実性が高まっています。

当組合の第四次中期経営計画では、『医師専門の金融機関として、地域医療の発展に貢献する』ことを基本方針に掲げています。富山県医師会の関連団体として、先生方に安心・信頼してお取引いただけるよう、財務基盤の充実に努めるとともに、健全なガバナンス態勢を確保し、堅実な経営を実践することとしています。

また、当組合は経済・金融環境が大きく変化する中でも、先生方のお役にたてるよう、預金金利はできる限り高く、貸出金利はできる限り低く設定しております。

令和 7 年 3 月末の実績は、預金につきましては、年間 1,415 百万円の減少となりました。貸出金につきましては、新規開業や住宅資金等の増加により年間増加額は 591 百万円となりました。収益につきましては、コア業務純益は 216 百万円、当期純利益は 126 百万円と相応の利益を確保しました。経営体力につきましては、自己資本比率は 23%台と高い水準を維持しております。組合員数につきましては、年間で 29 名の脱退がありましたが、B 会員の先生方を中心に 65 名の加入があり、36 名増加しました。

令和 7 年度は、当組合創立 60 周年を迎えます。医師会員・組合員のために設立された、非営利目的の金融機関としての原点と、先人の皆様、先生方への感謝を忘れることなく、当組合の役割・使命を果たすべく、医業域信用組合ならではの取り組みを地道に継続していく所存ですので、引き続き当組合をご利用賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(単位：百万円)

主 要 勘 定	当 期 末 (7 . 3 . 3 1)	前 期 末 (6 . 3 . 3 1)	増 減
総 預 金 (期 中 平 均 残 高)	37,484 (38,260)	38,899 (38,864)	△1,415 (△604)
総 貸 出 (期 中 平 均 残 高)	8,138 (7,829)	7,547 (7,377)	591 (452)
有 価 証 券 (期 中 平 均 残 高)	26,136 (24,146)	23,235 (24,323)	2,901 (△177)
預 け 金 (期 中 平 均 残 高)	9,990 (13,070)	16,257 (14,489)	△6,267 (△1,419)
コ ア 業 務 純 益	216	204	12
経 常 利 益	198	154	44
当 期 純 利 益	126	86	40
自 己 資 本 比 率	23.14%	22.12%	1.02%
組 合 員 数	1,380 先	1,344 先	36 先